

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	明治大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	メイジダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F113310103536
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	東京都
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	情報コミュニケーション学部 情報コミュニケーション学科
	担当教職員名・役職	横田貴之専任教授
	受講者数実績年度	令和5年度
	受講者数※キャリア形成支援活動参加者数	50
	受入企業等数	1
	受入企業等名	TOPPAN株式会社
	産学協議会の整理上の類型	2.タイプ2(キャリア教育)
	キャリア形成支援活動の分類	1.長期(概ね1か月以上)のキャリア形成支援活動 7.高学年(大学3年次~4年次程度)又は修士課程学生を対象としたキャリア形成支援活動 9.大企業・グローバル企業でのキャリア形成支援活動
上記以外のキャリア形成支援活動の分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該キャリア形成支援活動は、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	3.その他
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	企業派遣外部講師による学内でのキャリア教育、ワークショップ、問題解決ワーク
1-3.上記回答内容に関する詳細	全7日(1日当たり2コマ(3時間半))授業を行っている。毎回の授業では、講師(TOPPAN株式会社情報コミュニケーション事業本部社員)による「マーケティングDX(デジタルトランスフォーメーション)」に関する講義を受けたのち、受講生が主体的に問題解決型のワークに取り組むことで、インプット・アウトプットを重ね、TOPPANの業務に即した実践的な就業体験を可能としている。また、最終回(第7日目)授業では、第1~6日の授業を踏まえ、総合ワークとして「ブランドコミュニケーション」にかかる提案発表を行い、マーケティングDXに関するノウハウを体系的に修得することができている。	
要素②	2-1.当該キャリア形成支援活動を正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、当該取組の実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するキャリア形成支援活動の内容	2.当該キャリア形成支援活動は、キャリア教育科目として実施している 6.当該キャリア形成支援活動は、選択科目として実施している 7.当該キャリア形成支援活動は、授業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているキャリア形成支援活動の内容	
	2-3.当該キャリア形成支援活動を実施する年次	大学 学部3年
	2-4.当該キャリア形成支援活動で付与される単位数	大学 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	学部3年生を対象に、秋学期第1クオータ期間(7日間・全14コマ)に、学内での実践的就业体験を組み合わせた選択科目「インターンシップ」として実施している。本科目では、連携企業TOPPAN株式会社から専門的知見を得ると同時に、学生の自律性・主体性に基づき就業体験や職業観の涵養を促している。単位数においては、2単位を付与している。

項目	確認事項	届出内容
要素③	3-1.インターンシップ等の就業体験の実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、キャリア形成支援活動の教育的効果が発揮されるよう就業体験実施期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	5.その他
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	学部1・2年次に、キャリアデザイン科目群でキャリア形成支援活動への理解を事前に促進している。
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 4.その他
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	・TOPPAN株式会社社員の方と昼食をとりながらキャリア感醸成を目的とした懇親会を実施している。 ・マイナビ提供のキャリアデザインツール「適性診断MATCH plus」による自己分析を実施前後に受験している。
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	・毎回の授業後にレポート課題を課しており、「当日得たこと」「自身の取り組み」「感想など」を次の授業までに記入・提出し、内省を促したうえで、次回授業に臨むようにしている。 ・学内授業の優位性を活用し、大学教職員が全授業に参加し、実施状況について確認している。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	履修希望者を対象とし、「インターンシップ入門」といった科目を開講し、早期から自己分析を促し、自己実現とキャリアデザインを考える機会を提供している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	全授業回実施後は、TOPPAN株式会社社員と昼食を取りながら対話をする中で、自身のキャリア感を見つめなおす機会としている。また、本科目を履修してどのような学びがあったか、今後どのようなキャリアを歩んでいきたいか、をレポート課題として取り組むこととしている。さらには、マイナビが提供するキャリアデザインツール「適性診断MATCH plus」を受験することで、実施前の自身のコンピテンシーが実施後にどのように変わったかを計ることとしている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	履修生とは課題提出物等を活用し、授業の理解度や自身の取り組みに対する振り返りを行い、毎週講師は提出内容を確認している。大学教職員が毎回授業に出席し、授業内容・進捗状況を確認し、適宜、講師であるTOPPAN社員と授業運営に関する協議を行い、迅速に授業運営に反映させている。
要素④	4-1.キャリア形成支援活動の教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をキャリア形成支援活動の実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 2.社会で求められる汎用的能力等を客観的に測定するためのテストを用いて、キャリア形成支援活動の実施前後で回答を求めている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	授業の事前事後において、キャリアデザインツール「適性診断MATCH plus」の受験を受講生に指示している。当該ツールで得られたデータは、自己分析・適性診断に関する汎用的能力等の客観的・定量的な把握が各受験時点で可能であり、今後に向けた自己理解や学修の深化に資するような指導を行っている。

項目	確認事項	届出内容
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のキャリア形成支援活動の実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	4.その他
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合)	
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	外部講師(TOPPA社員)による授業14回(7日間)
	5-3.上記回答内容に関する詳細	本科目は学内で実施されているため、TOPPAN株式会社社員とともに7日間・14回の授業を行うことで、計5日以上キャリア形成支援活動を実施している。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している 2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、就業体験実施期間中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	毎年事前に本科目の意義・目的を連携企業(TOPPAN)にご理解いただいた上で、連携企業や市場のニーズを十分に汲み取る授業内容・目標を設定し、履修生に有益な制度設計を行っている。全授業回でTOPPAN株式会社社員・大学教職員が授業運営や学生指導で協力し、成績に関する評価は両者が協議の上で決定している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://www.meiji.ac.jp/infocom/office/6t5h7p000039xat0-att/mkmht000000qi9vp.pdf
問い合わせ先	大学等名	明治大学
	担当部署名	情報コミュニケーション学部事務室
	担当者役職名	事務室員
	担当者氏名	長谷川広海
	電話番号	03-3296-4262
	メールアドレス	infocom@mics.meiji.ac.jp